

2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月15日

上場会社名 クオインタムソリューションズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2338 URL <https://www.quantum-s.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)マーク ピンク
問合せ先責任者 (役職名)社長室長 (氏名)邵 賛 (TEL)03 (6910)0571
定時株主総会開催予定日 2024年5月30日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の連結業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	205	△22.3	△942	-	△783	-	△902	-
2023年2月期	264	3.0	△394	-	△156	-	△954	-

(注) 包括利益 2024年2月期 △1,068百万円 (-%) 2023年2月期 △1,187百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	△21.67	-	△1,360.9	△96.7	△459.0
2023年2月期	△25.41	-	△164.1	△20.2	△149.2

(参考) 持分法投資損益

2024年2月期

-百万円

2023年2月期

-百万円

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	1,149	18	△13.2	△3.48
2023年2月期	468	396	60.6	7.01

(参考) 自己資本

2024年2月期

△151百万円

2023年2月期

284百万円

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	△657	△128	681	137
2023年2月期	△379	△477	583	236

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,184	-	196	-	188	-	188	-	4.32
通期	1,421	593.1	12	-	10	-	10	-	0.23

（注）当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年2月期	43,609,593株	2023年2月期	40,611,393株
2024年2月期	115,797株	2023年2月期	115,581株
2024年2月期	41,642,868株	2023年2月期	37,555,262株

（注）当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2024年2月期の個別業績（2023年3月1日～2024年2月29日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	60	25.0	△819	-	△793	-	△978	-
2023年2月期	48	-	△221	-	△176	-	△1,231	-

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期	△23.50	-
2023年2月期	△32.80	-

（注）当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	1,143	11	△13.7	△3.60
2023年2月期	392	306	49.5	4.80

（参考）自己資本 2024年2月期 △156百万円 2023年2月期 194百万円

（注）当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、長期化した新型コロナウイルス感染の影響が収まり、日経平均株価が平成バブル前の最高値を超えるなど、緩やかな持ち直しの傾向が見えてまいりました。しかしながら、その一方で、円安に起因する輸入価格高騰による物価上昇や、ゼロ金利解除など金融市場の変動等の下振れリスクが懸念されるなど、経済環境は、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境の下、当連結会計年度につきましては、売上高205百万円（前期比22.3%減）、営業損失942百万円（前期は営業損失394百万円）となりました。経常損失は783百万円（前期は経常損失156百万円）となり、出資株式の減損損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純損失は902百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失954百万円）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

(システムソリューション事業)

当事業におきましては、第3四半期連結累計期間より5G技術とAI技術を融合した関連事業としてのAI関連事業の展開を準備しております。その一環として、2023年7月にCompass Cloud Technology Pte. Ltd.（以下「Compass Cloud」という。）との合弁会社としてコンパスクラウド AI ジャパン株式会社を設立し、同社において、Compass Cloudの開発した計算効率に優れ、消費電力やサイズで他社製品に比較優位性のあるARMベースのエッジ・サービス・ハードウェアを利用し、AI、エッジコンピューティング、クラウドストレージ、クラウドゲーミング、デジタルツイン事業（AIGC事業という）を日本で展開していく予定です。

さらに、現在、大規模言語モデルを活用したいわゆる生成型AIの開発が爆発的に進んできており、使用されるGPUの市場規模が急速に拡大しているため、2023年9月に当社はKAYTUS SINGAPORE PTE. LTD.（以下「KAYTUS社」という。）と販売代理店契約を締結し、AI開発向けGPUサーバーの販売を開始しております。本事業は現在、当初計画からすると期ずれはしておりますが、予定通り進んでおり、KAYTUS社から高性能GPUサーバーを調達して検索エンジン大手企業を含んだ販売先への提供開始に向けて調整中です。

又、2023年12月にJP GAMES 株式会社と資本業務提携契約を締結し、翌2024年1月に同社株式2.5%を取得すると共に、同社が開発するゲームプロジェクトの権利を取得するなど、AI関連事業の更なる展開を図っております。

以上のようにAI関連事業を展開しており、GPUサーバーなどの販売に関しては幾つかの取引契約締結に至っておりますが、取引が期中には完了していないことから、当連結会計期間においては、大きな実績には結びついていない状況です。その結果、売上高は26百万円（前期比55.2%減）、売上構成比は12.8%（前期売上構成比22.1%）となりました。セグメント損失(営業損失)は158百万円（前年同期は191百万円のセグメント損失）となり、前年と比べ32百万円の赤字幅縮小となりました。

(アイラッシュケア事業)

当事業におきましては、サロン部門において、当連結会計年度中に1店舗閉店（新宿マルイ店：2023年11月）したものの他店舗の顧客数の伸びにより売上高減少を小幅に抑え、全体では対前年度比90%（10%の減収）に留めました。

また、商材部門においては、引き続き競合他社の参入並びに低価格商材の増加、既存客の購入件数が減少するなどにより顧客単価が低下し、計画を下回る水準となっております。その結果、売上高は179百万円（前期比13.0%減）、セグメント損失（営業損失）は21百万円（前期は54百万円の営業損失）となり、前連結会計年度と比べ32百万円の赤字幅縮小

となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、153.2%増加し、1,119百万円となりました。これは、主に商品が483百万円、前渡金が416百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、14.4%増加し、30百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて145.3%増加し、1,149百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1,470.9%増加し、1,131百万円となりました。これは、主に買掛金が481百万円、前受金が591百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、0百万円増加し、0百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,471.0%減少し、1,131百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて95.4%減少し、18百万円となりました。これは、主に資本金及び資本剰余金が、それぞれ314百万円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことにより利益剰余金が902百万円、為替換算調整勘定が160百万円減少したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、137百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は657百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純損失、棚卸資産の増減額、前渡金の増減額、仕入債務の増減額、前受金の増減額によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は128百万円となりました。

これは主に投資有価証券の取得によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は681百万円となりました。

これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内においても海外においても新型コロナウイルスの影響が完全には払拭されず、また、世界的な情勢不安、原油価格をはじめとする各種物資の価格高騰等、経営環境の厳しさは今後も依然として続くものと予想されます。

このような事業環境の中で、当社グループの翌連結会計年度（第26期）は、早期の黒字転換のために、当期スタートさせている幾つかのA I等関連事業推進に注力してまいります。

システムソリューション事業では、引き続きA I等関連事業の一環として、1)AI、エッジコンピューティング、クラウドストレージ、クラウドゲーミング、デジタルツイン事業（AIGC事業という）、2)GPUサーバー販売事業、3)ゲーム開発事業を進展させてまいります。

アイラッシュケア事業では、商材部門において、化粧品登録のまつ毛美容液の販売が好調に推移していることから、販売向上諸施策により売上の伸長を図ります。又、サロンにおいては新予約管理システムを6月に導入し、ユーザー利便性の向上とスタッフの業務削減を図ってまいります。

以上のことから、第26期の連結通期の業績見通しにつきましては、売上高1,421百万円、営業利益12百万円、経常利益10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失が発生したことに加え、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。当連結会計年度におきましても、売上高が減少し、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。当社グループは当該状況を早急に解消するため、以下の施策を実施してまいります。

当社グループは、当連結会計年度において、早期黒字化のために、システムソリューション事業においてA I等関連事業の立上げを目標といたしました。当連結会計年度中、A I等関連事業の一環として、1)AI、エッジコンピューティング、クラウドストレージ、クラウドゲーミング、デジタルツイン事業（以下、AIソリューション事業という）、2)GPUサーバー販売事業、3)ゲーム開発事業を立ち上げました。

この結果、1)AIソリューション事業においては、AIアバター(株)を立ち上げ次期会計年度において売上計上を計画しております。2)GPUサーバー販売事業では、当期の営業成果が次期会計年度に実現し大幅な黒字を計上予定で、黒字転換の柱となります。3)ゲーム開発事業は、次期第1四半期中にデモ機が完成し、本格的な開発に向けた資金調達プランを検討して参ります。

アイラッシュケア事業では、事業環境に対応した規模の最適化諸施策が奏功し、部門黒字転換が見込める状況となっております。

これら今後必要となる事業資金の確保については、資金調達で得た資金や手元資金のほか、必要に応じて新たな資金調達を検討することで対応してまいります。

しかし、これらの対応策の実現可能性は、市場の状況、需要動向、他社との競合等の影響による成果を負っており、新株予約権者や投資家のご意向や事業計画の達成如何にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を反映しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	236,335	137,107
売掛金	45,034	11,409
商品及び製品	40,070	523,677
前渡金	-	416,830
未収入金	112,198	169
その他	15,983	36,518
貸倒引当金	△7,368	△6,029
流動資産合計	442,254	1,119,683
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	-	1,636
有形固定資産合計	-	1,636
無形固定資産		
ソフトウェア	-	2,713
無形固定資産合計	-	2,713
投資その他の資産		
差入保証金	17,501	25,877
長期貸付金	25,000	25,000
長期立替金	611,405	657,417
その他	20	20
貸倒引当金	△627,480	△682,417
投資その他の資産合計	26,447	25,897
固定資産合計	26,447	30,248
資産合計	468,701	1,149,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,302	484,897
未払金	62,202	31,258
未払法人税等	2,856	2,510
前受金	-	591,340
預り金	2,466	1,910
その他	1,216	19,835
流動負債合計	72,044	1,131,752
固定負債		
その他	-	69
固定負債合計	-	69
負債合計	72,044	1,131,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,954,572	3,268,604
資本剰余金	2,537,386	2,851,419
利益剰余金	△5,017,813	△5,920,229
自己株式	△59,086	△59,198
株主資本合計	415,059	140,595
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△131,031	△292,001
その他の包括利益累計額合計	△131,031	△292,001
新株予約権	112,629	168,087
非支配株主持分	-	1,427
純資産合計	396,657	18,109
負債純資産合計	468,701	1,149,931

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	264,289	205,244
売上原価	87,141	65,934
売上総利益	177,147	139,309
販売費及び一般管理費	571,375	1,081,359
営業損失(△)	△394,228	△942,049
営業外収益		
受取利息	377	615
受取配当金	0	-
助成金収入	2,891	1,655
為替差益	243,907	157,384
その他	1,358	1,289
営業外収益合計	248,535	160,945
営業外費用		
支払利息	10,849	-
株式交付費	-	1,904
その他	-	4
営業外費用合計	10,849	1,908
経常損失(△)	△156,542	△783,012
特別利益		
新株予約権戻入益	31,997	-
投資有価証券売却益	10,012	-
子会社清算益	2,147	-
特別利益合計	44,157	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	618,024	-
減損損失	221,727	-
投資有価証券評価損	-	122,499
特別損失合計	839,752	122,499
税金等調整前当期純損失(△)	△952,138	△905,512
法人税、住民税及び事業税	2,226	1,916
法人税等合計	2,226	1,916
当期純損失(△)	△954,364	△907,428
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△5,012
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△954,364	△902,416

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
当期純損失 (△)	△954,364	△907,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128,192	-
為替換算調整勘定	△104,617	△160,926
その他の包括利益合計	△232,810	△160,926
包括利益	△1,187,174	△1,068,355
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,187,174	△1,063,387
非支配株主に係る包括利益	-	△4,968

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,658,679	2,241,494	△4,063,448	△59,086	777,638
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	295,892	295,892			591,784
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△954,364		△954,364
自己株式の取得					
新株予約権の失効					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	295,892	295,892	△954,364	-	△362,579
当期末残高	2,954,572	2,537,386	△5,017,813	△59,086	415,059

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	128,192	△26,413	101,779	131,714	-	1,011,132
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)				△8,419		583,365
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△954,364
自己株式の取得						-
新株予約権の失効				△31,997		△31,997
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△128,192	△104,617	△232,810	21,331	-	△211,479
当期変動額合計	△128,192	△104,617	△232,810	△19,085	-	△614,475
当期末残高	-	△131,031	△131,031	112,629	-	396,657

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,954,572	2,537,386	△5,017,813	△59,086	415,059
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	314,032	314,032			628,065
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△902,416		△902,416
自己株式の取得				△112	△112
新株予約権の失効					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	314,032	314,032	△902,416	△112	△274,463
当期末残高	3,268,604	2,851,419	△5,920,229	△59,198	140,595

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	△131,031	△131,031	112,629	-	396,657
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						628,065
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△902,416
自己株式の取得						△112
新株予約権の失効						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	△160,970	△160,970	55,458	1,427	△104,084
当期変動額合計	-	△160,970	△160,970	55,458	1,427	△378,547
当期末残高	-	△292,001	△292,001	168,087	1,427	18,109

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△952,138	△905,512
減損損失	221,727	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	122,499
減価償却費	9,640	594
為替差損益 (△は益)	△84,928	△120,084
株式報酬費用	21,331	-
助成金収入	△2,891	△1,655
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	591,801	△11,388
受取利息及び受取配当金	△377	△615
支払利息	10,849	-
新株予約権戻入益	△31,997	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,012	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,668	35,675
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,955	△483,606
未収入金の増減額 (△は増加)	△109,367	114,817
前渡金の増減額 (△は増加)	△770	△413,255
前受金の増減額 (△は減少)	-	590,595
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,820	-
前払費用の増減額 (△は増加)	5,561	△11,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,604	481,429
その他	△28,974	△54,723
小計	△367,745	△656,315
利息及び配当金の受取額	377	615
利息の支払額	△10,849	-
助成金の受取額	2,891	1,655
法人税等の支払額	△3,723	△3,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	△379,050	△657,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△2,047
無形固定資産の取得による支出	-	△2,764
投資有価証券の取得による支出	-	△122,499
投資有価証券の売却による収入	124,630	-
長期立替金の支払いによる支出	△602,039	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	6,440
差入保証金の差入による支出	-	△7,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477,408	△128,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	-
短期借入金の返済による支出	△400,000	-
新株予約権の発行による収入	-	65,140
新株予約権の行使による株式の発行による収入	583,365	616,426
自己株式の取得による支出	-	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	583,365	681,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,580	5,444
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△271,513	△99,228
現金及び現金同等物の期首残高	507,849	236,335
現金及び現金同等物の期末残高	236,335	137,107

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度及び当連結会計年度におきまして営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早急に解消するため、以下の施策を実施してまいります。

システムソリューション事業においては、A I 等関連事業の進展を図って参ります。当連結会計年度中、A I 等関連事業の一環として、1)AI、エッジコンピューティング、クラウドストレージ、クラウドゲーミング、デジタルツイン事業（以下、AIGC事業）、2)GPUサーバー販売事業、3)ゲーム開発事業の3事業を立ち上げました。

この結果、1)AIGC事業においては、AIアバター(株)を立ち上げ、次期会計年度において売上計上を計画しております。2)GPUサーバー販売事業では、当期の営業努力の結果が次期会計年度に実現し大幅な黒字を計上予定で、黒字転換の柱となります。3)ゲーム開発事業は、次期第1四半期中にデモ機が完成し、本格的な開発に向けた資金調達プランを検討して参ります。

また、同2023年7月に「第三者割当による第12回新株予約権の発行に関するお知らせ」で開示したように、AI生成コンテンツ（以下「AIGC」といいます。）事業を具体的かつ相応の速度で進めるため、新株予約権発行による資金調達を行いました。これに加え、2023年12月にJP Games社と資本業務提携を実現し、本格的なゲーム開発に向けた事業計画を検討してまいります。

アイラッシュケア事業では、事業環境に対応した規模の最適化諸施策が奏功し、部門黒字転換が見込める状況となっております。

AIGC事業については、第12回新株予約権により、資金調達の見通しがついておりますが、それ以外に関して、今後必要となる事業資金の確保については、資金調達で得た資金や手元資金の他、必要に応じた新たな資金調達を検討することで対応してまいります。

しかし、これらの対応策の実現可能性は、市場の状況、需要動向、他社との競合等の影響を受けるほか、新株予約権者や投資家の御意向や事業計画の達成如何にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を反映しておりません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは事業別の会社を置き、各事業会社は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システムソリューション事業」は、以下の3主要事業を推進しております。

- i) AIGC事業：AI、エッジコンピューティング、クラウドストレージ、クラウドゲーミング、デジタルツイン事業
- ii) GPUサーバー販売事業：NVIDIA製GPU搭載サーバーを主体としたサーバー・ストレージ販売
- iii) ゲーム開発事業：JP GAMES社と資本業務提携の下で新たなゲーム機器・コンテンツの開発

「アイラッシュケア事業」は、主にまつ毛エクステンションの店舗経営及びまつ毛関連化粧品企画及び販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント資産及び負債、並び有形固定資産及び無形固定資産の増加額については取締役会に対して定期的に提供しておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の対象となっていないため、開示しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	システムソリューション事業	アイラッシュケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,473	205,816	264,289	-	264,289	-	264,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	58,473	205,816	264,289	-	264,289	-	264,289
セグメント利益又は損失(△)	△191,562	△54,288	△245,851	△824	△246,675	△147,552	△394,228
その他の項目							
減価償却費	9,640	-	9,640	-	9,640	-	9,640
減損損失	221,727	-	221,727	-	221,727	-	221,727

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

- 2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△147,552千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益計 算書計上額 (注)3
	システムソリ ューション事業	アイラッシュケア 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,200	179,044	205,244	-	205,244	-	205,244
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	26,200	179,044	205,244	-	205,244	-	205,244
セグメント利益又は損失(△)	△158,612	△21,589	△180,201	△1,523	△181,724	△760,324	△942,049
その他の項目							
減価償却費	594	-	594	-	594	-	594
減損損失	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△760,324千円は、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

1 製品及びサービスに関する情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	合計
220,390	43,898	264,289

(2) 有形固定資産

会計上、有形固定資産が存在しないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
FOMM (ASIA) Co., Ltd.	43,898	システムソリューション事業

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

1 製品及びサービスに関する情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域に関する情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
blueqat株式会社	24,000	システムソリューション事業

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)		当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
1株当たり純資産額	7円01銭	1株当たり純資産額	△3円48銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△25円41銭	1株当たり当期純損失金額(△)	△21円67銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失金額を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年2月28日現在)	当連結会計年度 (2024年2月29日現在)
純資産の部の合計額(千円)	396,657	18,109
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	112,629	169,515
(うち新株予約権(千円))	(112,629)	(168,087)
(うち非支配株主持分(千円))	(-)	(1,427)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	284,028	△151,405
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	40,495,812	43,493,796

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△954,364	△902,416
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△954,364	△902,416
普通株式の期中平均株式数(株)	37,555,262	41,642,868

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2024年1月19日開催の取締役会決議に基づき、2024年3月1日付で株式分割を行っております。

1 株式分割の目的

株式分割を行い、当社普通株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、個人投資家をはじめとする投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を向上し、投資家層のさらなる拡大を図ることを目的とするものです。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2024年2月29日を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,536,531株
今回の分割により増加する株式数	29,073,062株
株式分割後の発行済株式総数	43,609,593株
株式分割後の発行可能株式総数	162,445,500株

(3) 日程

基準日公告日	2024年2月15日
基準日	2024年2月29日
効力発生日	2024年3月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	151,976	37,082
売掛金	4,400	4,400
商品	-	498,392
前渡金	-	416,830
短期貸付金	62,000	9,572
その他	12,070	31,633
貸倒引当金	△377	△8,768
流動資産合計	230,069	989,142
固定資産		
投資その他の資産		
関係会社株式	121,027	121,027
関係会社長期貸付金	1,846,508	1,855,571
長期貸付金	25,000	25,000
関係会社長期未収入金	85,452	85,452
差入保証金	9,112	9,294
その他	10	10
貸倒引当金	△1,924,543	△1,885,501
投資損失引当金	-	△56,679
投資その他の資産合計	162,567	154,174
固定資産合計	162,567	154,174
資産合計	392,636	1,143,317

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	483,683
未払金	36,349	44,625
1年内返済予定の長期借入金	47,200	7,600
未払法人税等	1,210	1,210
前受金	-	579,480
預り金	896	755
その他	16	14,387
流動負債合計	85,672	1,131,742
負債合計	85,672	1,131,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,954,572	3,268,604
資本剰余金		
資本準備金	1,970,772	2,284,804
その他資本剰余金	575,824	575,824
資本剰余金合計	2,546,596	2,860,629
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△5,247,746	△6,226,547
利益剰余金合計	△5,247,746	△6,226,547
自己株式	△59,086	△59,198
株主資本合計	194,335	△156,512
新株予約権	112,629	168,087
純資産合計	306,964	11,575
負債純資産合計	392,636	1,143,317

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	48,000	60,000
売上原価	-	19,500
売上総利益	48,000	40,500
販売費及び一般管理費		
役員報酬	27,300	28,830
給料及び手当	21,346	33,991
株式報酬費用	21,331	-
賃借料	6,146	6,609
支払手数料	173,148	309,779
貸倒引当金繰入額	386	-
租税公課	899	123,630
研究開発費	-	300,000
その他	18,497	57,557
販売費及び一般管理費合計	269,055	860,399
営業損失(△)	△221,055	△819,899
営業外収益		
受取利息	8,843	441
為替差益	47,460	-
貸倒引当金戻入額	-	30,650
雑収入	74	1,686
営業外収益合計	56,377	32,778
営業外費用		
支払利息	11,796	258
為替差損	-	4,122
雑損失	-	1,908
営業外費用合計	11,796	6,289
経常損失(△)	△176,474	△793,410
特別利益		
新株予約権戻入益	31,997	-
特別利益合計	31,997	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	846,955	-
投資有価証券評価損	-	122,499
関係会社株式評価損	240,240	4,999
投資損失引当金繰入額	-	56,679
特別損失合計	1,087,195	184,179
税引前当期純損失(△)	△1,231,673	△977,589
法人税、住民税及び事業税	260	1,211
法人税等合計	260	1,211
当期純損失(△)	△1,231,934	△978,801

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,658,679	1,674,879	575,824	2,250,703	△4,015,812	△4,015,812
当期変動額						
新株の発行	295,892	295,892		295,892		
当期純損失(△)					△1,231,934	△1,231,934
自己株式の取得						
新株予約権の失効						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	295,892	295,892	-	295,892	△1,231,934	△1,231,934
当期末残高	2,954,572	1,970,772	575,824	2,546,596	△5,247,746	△5,247,746

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△59,086	834,484	131,714	966,199
当期変動額				
新株の発行		591,784	△8,419	583,365
当期純損失(△)		△1,231,934		△1,231,934
自己株式の取得				-
新株予約権の失効			△31,997	△31,997
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			21,331	21,331
当期変動額合計	-	△640,149	△19,085	△659,234
当期末残高	△59,086	194,335	112,629	306,964

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,954,572	1,970,772	575,824	2,546,596	△5,247,746	△5,247,746
当期変動額						
新株の発行	314,032	314,032		314,032		
当期純損失(△)					△978,801	△978,801
自己株式の取得						
新株予約権の失効						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	314,032	314,032	-	314,032	△978,801	△978,801
当期末残高	3,268,604	2,284,804	575,824	2,860,629	△6,226,547	△6,226,547

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△59,086	194,335	112,629	306,964
当期変動額				
新株の発行		628,065		628,065
当期純損失(△)		△978,801		△978,801
自己株式の取得	△112	△112		△112
新株予約権の失効				-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			55,458	55,458
当期変動額合計	△112	△350,848	55,458	△295,389
当期末残高	△59,198	△156,512	168,087	11,575

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、前事業年度におきまして営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、当該状況を早急に解消するため、以下の施策を実施してまいります。

- 1) 前期当社にてAI等関連事業の一環として立ち上げたGPUサーバー販売事業の本格的な販売展開により当期より大幅な部門収益を獲得します。
- 2) グループ子会社においては、アイラッシュケア事業における黒字化の目途がつき、その他新規事業も売上計上を目指す段階となってきたことから、経営指導を徹底すると共に、必要運転資金の圧縮に努めてまいります。
- 3) ゲーム開発事業については、そのプロジェクト開発手法やプロセスが明確になり次第、同開発プロジェクトに対応した資金調達計画を検討して参ります。

この結果、当期においては、当期既存事業資金について営業キャッシュフローにて賄う予定となっております。

しかし、これらの対応策の実現可能性は、市場の状況、需要動向、他社との競合等の影響を受けるほか、新株予約権者や投資家の御意向や事業計画の達成如何にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を反映しておりません。

5. その他

(1) 役員の変動

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、開示内容が定まった時点で開示いたします。